

1500人を超える参加 2・3集会

会場カンパ71万円 参加者の熱い思い

埼玉憲法会議も実行委員として加わっている、「集团的自衛権を行使容認した閣議決定撤回を求めるオール埼玉総行動実行委員会（略称・オール埼玉実行委員会）」が2月3日、埼玉会館大ホールで「いのち平和 憲法9条 2・3埼玉大集会」を開催し、ロビーまでいっぱいになる1,500人以上が参加しました。

九条の会事務局長の小森陽一さんが講演し、過激派組織「イスラム国」による日本人質事件での安倍首相の演説や記者会見での発言が「間違いであった」と痛烈に批判し、首相が自衛隊を海外で戦争する軍隊にしようとしている危険性を指摘、草の根からの反対世論作りの大切さを訴えました。

会場カンパは71万円も寄せられ、参加者の熱い思いが伝わりました。

小出重義実行委員長はあいさつで、5月31日に北浦和公園で1万人規模の大集会を企画し、今回はその前哨戦であることを伝え、引き続き集团的自衛権行使をストップする運動の強化を呼びかけました。

小森さん安倍首相の言動を痛烈批判

安倍首相

国民投票は来年に

昨日、自民党の憲法改正本部長の船田元氏が、安倍首相が改憲国民投票を、来年の参院選後、16年の末か17年前半に実施するのが「常軌的」と語ったことを明らかにしました。

参院でも3分の2狙い

改憲発議は衆・参それぞれ3分の2以上の賛成が必要で、自公勢力は衆院では3分の2の議席を得ていますが、参院では足りません。そのため参院選でも3分の2を確保して国民投票を実施しようとしています。そうさせないために、今春のいっせいで地方選挙と、集团的自衛権関連法案阻止のたたかいが極めて重要になります。



2階席まで満員



参加者をひきつける小森さん



日本一の津軽三味線を演奏した北村姉妹



開場前から入り口には長蛇の列ができる